

オリンピック・パラリンピック聖火リレー関係

聖火到着式・復興の火

- P22 聖火到着式
- P26 「復興の火」記念式典・展示～石巻市～
- P28 「復興の火」記念式典・展示～仙台市～

オリンピック聖火リレー

- P30 東京2020オリンピック聖火リレーの全体概要
- 東京2020オリンピック聖火リレーのコンセプト
- P31 宮城県における聖火リレールート選定の考え方
- 宮城県におけるセレブレーションについて
- P32 宮城県実行委員会選出の聖火ランナーの募集・
- 選考について
- 決定した宮城県実行委員会選出の聖火ランナーの内訳
- P33 宮城県の聖火リレールート
- P34 聖火リレーDay.1 6月19日(土)
- P36 聖火リレーDay.2 6月20日(日)
- P38 聖火リレーDay.3 6月21日(月)

パラリンピック聖火

- P40 東京2020パラリンピック聖火リレー宮城県聖火フェスティバル概要
- P41 バイオガス出前講座・聖火皿製作イベント
- P42 採火式
- P43 集火式



Photo by Tokyo2020





聖火到着式・復興の火

聖火到着式

日時 令和2年(2020年)3月20日(金・祝) 11:00~11:50

会場 航空自衛隊松島基地(東松島市)

3月20日に航空自衛隊 松島基地で、東京2020組織委員会によるオリンピック聖火の到着式が開催されました。3月19日にアテネのパナシナイコスタジアムでギリシャオリンピック委員会から東京2020組織委員会へと引き継がれた聖火は、聖火特別輸送機「TOKYO2020号」によって航空自衛隊松島基地に到着。

到着式ではまず、東京2020聖火リレー公式アンバサダーのサンドウィッチマンの伊達みきおさんと富澤たけしさん、女優の石原さとみさん、射撃・パラリンピック元代表の田口亜希さんがステージに登壇。それぞれが聖火への思いをコメントした後、柔道・オリンピック金メダリストの野村忠宏さんとレスリン

グ・オリンピック金メダリストの吉田沙保里さんが輸送機のタラップを上がり、アテネから運ばれた聖火を灯したランタンを受け取り、タラップ下で待つ東京2020組織委員会の森喜朗会長へ手渡しました。そこから聖火リレー用のトーチに移されたランタンの火は、野村さんと吉田さんの手によってステージ上の聖火皿へ点火。上空ではブルーインパルスによるオリンピックシンボル飛行が行なわれ、列席者から大きな歓声が上がりました。

この後、聖火は列席者に見送られる中、特別車両に乗り込んだサンドウィッチマンの2人によって「復興の火」式典会場である石巻市の「石巻南浜津波復興祈念公園」に運ばれました。

式次第(敬称略)

- ・開会
- ・東京2020聖火リレー公式アンバサダートークセッション
- ・聖火特別輸送機「TOKYO2020号」到着
- ・「TOKYO2020号」ブロックインブルーインパルス離陸
- ・聖火到着歓迎セレモニー
- ・主催者挨拶
(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 会長 …… 森 喜朗
- ・政府代表挨拶
東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣 …… 橋本 聖子
- ・ブルーインパルスによる「オリンピックシンボル」展示飛行
- ・聖火皿点火
- ・フォトセッション
- ・閉会

主な出席者(敬称略)

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 会長 …… 森 喜朗

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 会長代行 …… 遠藤 利明

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣 橋本 聖子

(公財)日本オリンピック委員会 会長 …… 山下 泰裕

東京2020聖火リレー公式アンバサダー 野村 忠宏

アテネ走行ランナー …… 吉田 沙保里

東京2020聖火リレー公式アンバサダー 田口 亜希

東京2020聖火リレー公式アンバサダー 石原 さとみ

東京2020聖火リレー公式アンバサダー 伊達 みきお
(サンドウィッチマン)

東京2020聖火リレー公式アンバサダー 富澤 たけし
(サンドウィッチマン)

宮城県知事、宮城県市町村代表者、宮城県関係国会議員、宮城県議会議長、宮城県議会議員、宮城県市議会議長会会長、宮城県町村議会議長会会長







「復興の火」記念式典・展示

石巻市

日 時 令和2年(2020年)3月20日(金・祝) 13:30~19:00

会 場 石巻南浜津波復興祈念公園

「復興の火」は、東日本大震災からの復興に取り組む被災地のみなさんに、ギリシャで採火した聖火をリレーに先立ってご覧いただくというもの。3月20日から3月25日までの間、宮城県、岩手県、福島県の順に各2日間被災地を巡回しました。

最初の会場となったのは、東日本大震災の津波と火災の延焼により500名以上の尊い生命が失われた石巻市の南浜地区に、追悼と復興のシンボルとして整備され、令和3年(2021年)3月に開園した「石巻南浜津波復興祈念公園」。聖火到着式会場から

サンドウィッチマンの2人によって運ばれた聖火の灯るランタンは、公園内の「みやぎ東日本大震災津波伝承館」で行われた関係者による記念式典の後、屋外の聖火皿に点火され一般公開されました。

当日は強風が吹き荒れるあいにくの空模様でしたが、亀山紘石巻市長の手で無事聖火皿に点火されると、長い列を作って待っていた大勢の観客から大きな拍手と歓声が起こりました。

式次第(敬称略)

- ・開会宣言
- ・黙祷
- ・主催者挨拶
宮城県知事 村井 嘉浩
- ・来賓祝辞
(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 会長 森 喜朗
復興大臣 田中 和徳
東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会担当大臣 橋本 聖子
- ・来賓紹介
- ・主催紹介
- ・歓迎の言葉
石巻市長 亀山 紘
- ・フォトセッション
- ・閉会宣言

主な出席者(敬称略)

- (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 会長 森 喜朗
- (公財)日本オリンピック委員会 会長 山下 泰裕
- 復興大臣 田中 和徳
- 東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会担当大臣 橋本 聖子
- スポーツ庁長官 鈴木 大地
- 内閣官房副長官 西村 明宏
- 東京2020聖火リレー公式アンバサダー 伊達 みきお
(サンドウィッチマン)
- 東京2020聖火リレー公式アンバサダー 富澤 たけし
(サンドウィッチマン)

宮城県知事、石巻市長、宮城県関係国会議員、国土交通省東北地方整備局長、復興庁宮城復興局長、東京都副知事、宮城県沿岸市町代表者、宮城県議会議長、石巻市議会議長、沿岸市町選挙区選出宮城県議会議員、石巻市議会議員



「復興の火」記念式典・展示

仙台市

日時 令和2年(2020年)3月21日(土) 13:00~19:00

会場 JR仙台駅東西自由通路東口デッキ付近

石巻市での展示に引き続き、翌3月21日には、仙台市内でも「復興の火」の展示が行われました。会場となったのはJR仙台駅東西自由通路の東口デッキ。震災発生時は仙台駅構内も大きく損壊し、県内の主要鉄道路線は一時利用不能になりましたが、スピード復旧でその後の復興推進の力となり、現在は復興ツーリズム客を迎える玄関口となっています。

13時から行われた記念式典には村井嘉浩宮城県知事

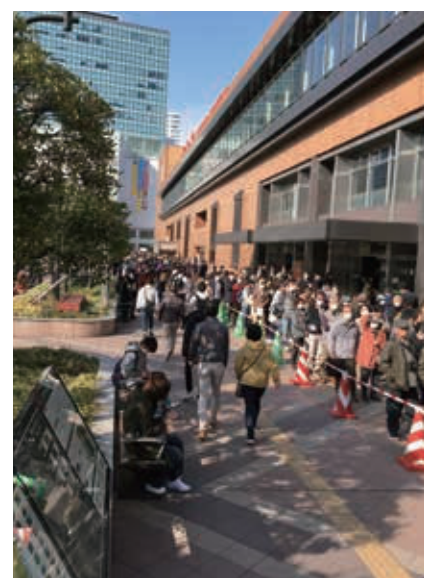
や郡和子仙台市長らが出席。列席者が見守る中、前日の石巻から引き継がれた火は、聖火皿に点火され、その後一般に公開されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から警備員やスタッフ・ボランティアが混雑緩和に努める中、聖火を一目見ようと県内外から詰めかけた観覧者の列は東口デッキから反対側の西口ペデストリアンデッキまで続き、展示終了の19時まで仙台駅は熱気に包まれました。

式次第(敬称略)

- 開会宣言
- 「復興の火」概要紹介
- 主催者挨拶
宮城県知事 村井 嘉浩
- 来賓祝辞
復興副大臣 菅家 一郎
(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会
組織委員会 副事務総長 布村 幸彦
仙台市長 郡 和子
- 復興の火聖火皿点火
- フォトセッション
- 聖火リレー概要紹介
- 閉会宣言

出席者(敬称略)

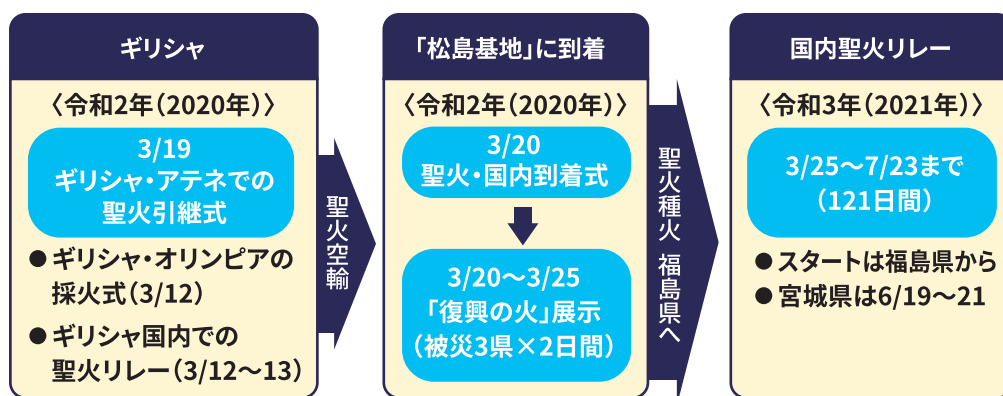
- 宮城県知事 村井 嘉浩
- 復興副大臣 菅家 一郎
- (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会
組織委員会 副事務総長 布村 幸彦
- 仙台市長 郡 和子
- 宮城県議会議長 石川 光次郎
- 仙台市議会議長 鈴木 勇治
- 東日本旅客鉄道(株)執行役員
仙台支社長 坂井 究



オリンピック聖火リレー

東京2020オリンピック聖火リレーの全体概要

名称	東京2020オリンピック聖火リレー
総日数	121日間(移動日を含む)
実施場所	47都道府県
主催	東京2020組織委員会
共催	東京2020オリンピック聖火リレー各都道府県実行委員会
パートナー	東京2020オリンピック聖火リレースポンサー各社



東京2020オリンピック聖火リレーのコンセプト



● 日本全国を盛り上げるリレー

- ・東京だけでなく、開催自治体、被災地など全都道府県でオリンピックの関心を高める
- ・復興に向けて努力する被災地を元気づけ、その様子を世界に感謝と共に発信

● 地域の特色を活かしたリレー

- ・地域の思いや希望、気持ちを募って、それを運び、つないでいく
- ・国内外にこれまで気がついていなかった日本・地域の魅力を再発見、再認識できる機会



● 誰もが参加できるリレー

- ・障がいや性別、年齢に捉われない共生社会実現のきっかけに
- ・走者だけでなく、地元も含めて盛り上げる

● 持続可能/安全・確実なリレー

- ・環境への影響など持続可能性にも配慮した運営
- ・支出を最小限にして運営を効率化、オリンピック聖火を安全に確実につなぐ

Hope Lights Our Way

希望の道を、つなごう。

支え合い、認めあい、高めあう心でつなぐ聖火の光が、新しい時代の日の出となり、人々に希望の道を照らします。

宮城県における聖火リレールート選定の考え方 (参考:東京2020オリンピック聖火リレー宮城県実行委員会検討資料より抜粋)

〈東京2020オリンピック聖火リレー宮城県実行委員会における方針〉

東京2020大会は「復興五輪」と位置付けられていることから、その意義に鑑み、聖火リレーが被災地の現状や、復興支援への感謝と復興した姿を世界に発信する機会となるよう、「復興五輪」を体現するルートを検討する。



ルート選定検討のポイント

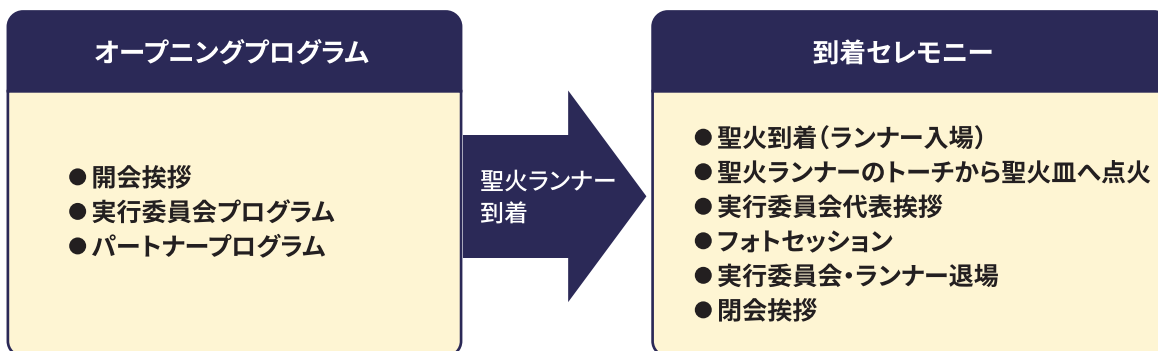
- 県内沿岸部の被災自治体(15市町)はルート選定の中心(軸)に位置付け、具体的ルートを検討する。

宮城県におけるセレブレーションについて

セレブレーション:1日のリレー最終到着地において行われる聖火到着セレモニー

- 収容人員:600人~1,000人(新型コロナウイルス感染症感染対策のため事前予約制)
- 実施時間:オープニングプログラムを含め最大120分程度

※実施場所により人数及び時間は異なる



セレブレーション会場

日程	実施場所
令和3年(2021年)6月19日(土)	JR女川駅前
令和3年(2021年)6月20日(日)	宮城県総合運動公園
令和3年(2021年)6月21日(月)	宮城野原公園総合運動場仙台市陸上競技場

宮城県実行委員会選出の聖火ランナーの募集・選考について

● 聖火ランナーの主な基本条件

- ・13歳以上(2020年度において中学1年生以上) ※18歳未満は保護者の同意が必要
- ・原則、宮城県にゆかりのある人
- ※現時点で居住している、過去に居住していた、県内に学校・職場がある、家族・親戚が県内にいる、過去に県内で活動実績あり等(国籍・性別は問わない)

● 聖火ランナーの選出枠

- ・各都道府県実行委員会枠として1日当たり22人の枠(宮城県は3日間で66人)を選出
- ・本県では市町村毎等に「選考枠」を設定し選出人数を割り当てる
(県内全市町村※仙台市は区毎:各1人×39/通過自治体:各1人×14/グループランナー1組/その他:車椅子等の障がい者、実行委員会調整枠12人=計66人)
- ※「グループランナー(1組10名以内)」の走行区間は仙台市内とし、実行委員会を選定する(今後、オリ・パラ選手として期待される若いアスリート<中学・高校生>から選出)

● 聖火ランナーの公募

県・市町村HP、県・市町村広報紙、新聞広告等のメディアを活用して周知を行い、実行委員会においてまとめて公募する

● 選考基準等

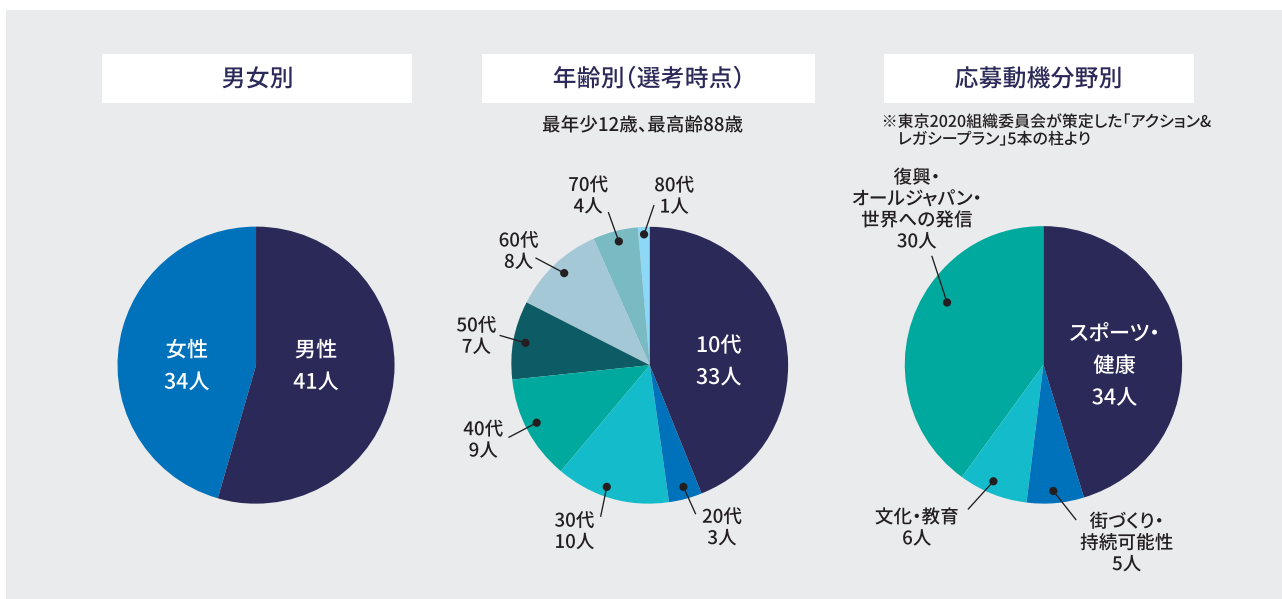
宮城の震災復興への貢献や情報発信、聖火リレーへの想い、走ることで伝えたいメッセージ、自分の将来像等、本県独自の項目を設定する

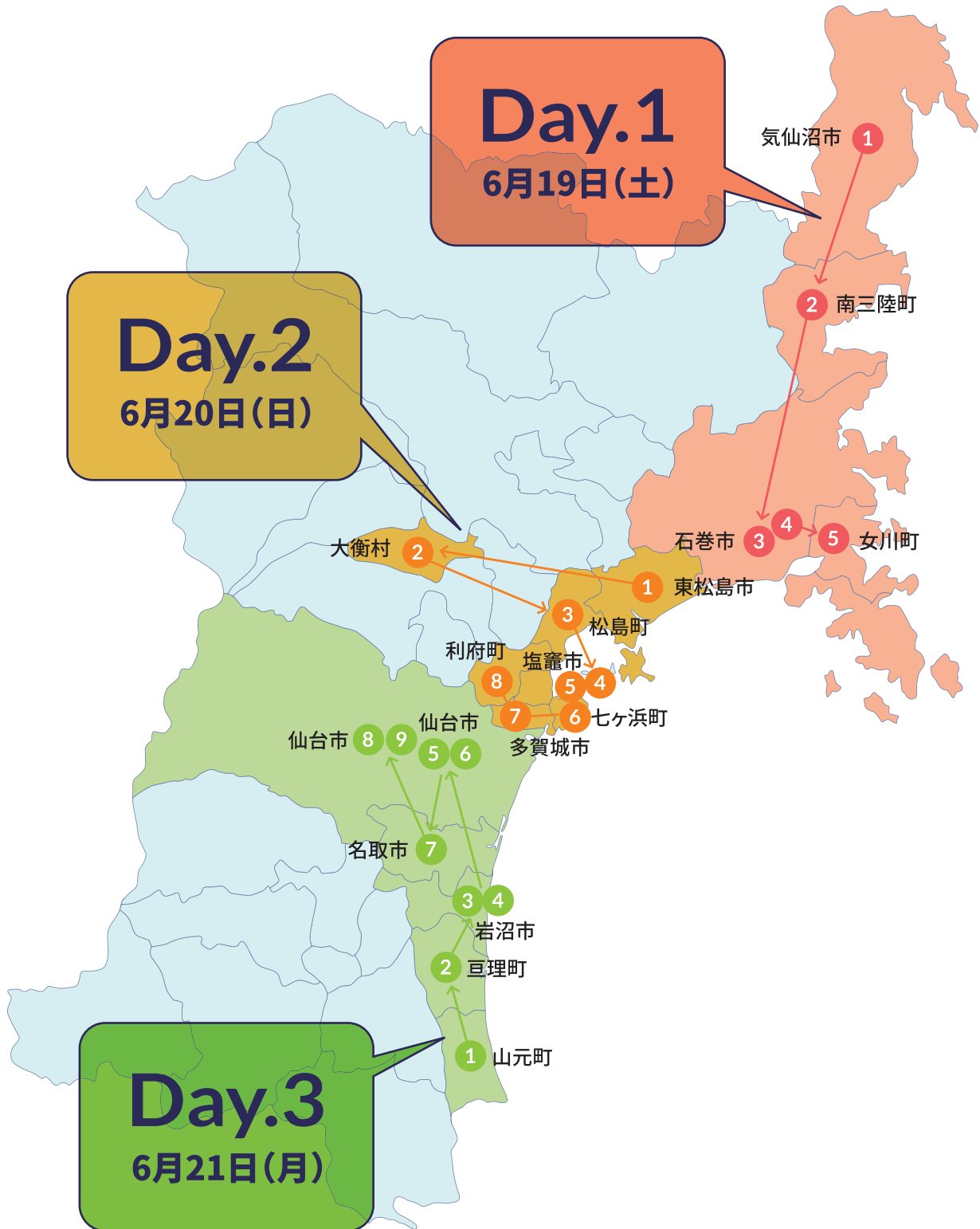
● 募集～選考の流れ<令和元年(2019年)>

7～8月	実行委員会事務局で募集受付
9月	実行委員会事務局で書類審査
10月上旬	聖火ランナー選考委員会の設置(県内全市町村、県内各スポーツ協会等で構成)
10月下旬	宮城県実行委員会にて審査・決定
12月下旬	東京2020組織委員会で正式決定

決定した宮城県実行委員会選出の聖火ランナーの内訳

応募総数	2,788人
走行人数	75人(グループランナーを含む)
うち障がいをお持ちのランナー	15人
	県内在住者71人/県外在住者4人





※ 矢印は順番を示すもので実際の経路は異なります。

聖火リレー Day.1 6月19日(土)

第1区間 気仙沼市

走行距離：3.16km

気仙沼市宮鹿折南住宅



気仙沼魚浜公園前



気仙沼市まち・ひと・しごとプラザ前



港町臨海道路



気仙沼市魚市場

第2区間 南三陸町

走行距離：3.01km

南三陸町役場



町営志津川東復興住宅前



南三陸消防署前



国道45号線



南三陸さんさん商店街

第1区間 気仙沼市

第2区間 南三陸町



聖火リレーランナー

★敬称略
★実行委員会選出ランナー
★年齢は走行時点

気仙沼市

千田健一(64)★
御手洗瑞子(36)
五十嵐妙子(42)
はらやん(60)
氏家良典(71)
桜井悦子(57)
勝美紀彦(45)

阿部桂子(62)
伊藤和長(62)
菅原昭彦(59)
竹川隆司(44)★
菅原笑華(23)
佐藤健生(67)
三浦 敏(56)

清水敏也(60)
大森美和(45)★
生島ヒロシ(70)
佐藤大智(28)
菅原 進(78)★

南三陸町

工藤大樹(38)★
白鳥 彩(18)★
佐藤香奈(37)
本田 司(38)
巴 雅人(66)
長谷川敬祐(36)
遠藤史郎(49)

阿部憲子(59)
菅原和彦(62)
小野寺美和(43)
石丸智子(54)
吉田 澄(50)★
門脇 雛(18)★
冠木敦子(49)

丹野智文(47)
きんちゃん(83)
高橋 正(71)
山内美代子(63)★

「復興五輪」の体現を念頭に設定された宮城県のルート。1日目は災害公営住宅の気仙沼市営鹿折南住宅をスタート。新設された気仙沼市魚市場や南三陸町の南三陸さんさん商店街を巡り、石巻市では、復活した孫兵衛船で旧北上川の水上をリレー。時折雨の降るあいにくの空模様でしたが、セレブレーション会場となる女川町復興のシンボル・JR女川駅前まで、総勢84人(組)のランナーで聖火をつなぎました。

第3区間 石巻市

走行距離：2.22km

JR石巻駅前



金華山道～アイトピア通り



NTT東日本石巻門脇ビル前～
いしのまき元気いちば前～
孫兵衛船による水上リレー



中瀬公園～西中瀬橋



石巻かわまち交流センター

第4区間 石巻市

走行距離：1.97km

石巻市総合運動公園駐車場



石巻市総合運動公園前



石巻市総合運動公園内



石巻市民球場前

第5区間 女川町

走行距離：3.80km

女川町町民第二多目的運動場C棟



運動公園住宅西側～女川町役場前



女川小・中学校グラウンド内～海岸広場前



シーパルピア女川内



JR女川駅前(セレブレーション)

第3区間 石巻市

第4区間 石巻市

第5区間 女川町



石巻市

鈴木典行(56)★
佐藤好晟(14)
近藤 純(34)
物江信弘(64)
五十嵐雄也(32)
佐々木大輔(14)★
古沢たけ子(63)

須佐尚康(73)
吉田博樹(41)
黒澤健一(50)★
三浦綾斗(19)★
鈴木澄子(35)★
加藤俊治(58)
おいでよ宮城(35)

石垣 海(17)
うーたん(14)
岩崎健弥(37)
山田秀明(40)
太田 博(75)
中野真吾(52)
澤田哲夫(89)★

澤村美香子(49)★
郷古富雄(57)
若山 崇(52)
大和千恵(38)★

女川町

田村孝行(60)
福田信也(45)
鎌田文彦(41)
佐藤睦美(54)
佐藤 剛(21)
菅原裕典(61)
小嶺聡之(21)

齋藤 充(56)★
飯泉立人(21)
宮城敏朗(72)
玉造晃司(49)
伊達みきお(46)
富澤たけし(47)
大槻智志(50)★

櫻井由美(56)
齋藤守彦(60)
土田悠希(14)
二宮駒音(21)
工藤佳奈(49)
後藤美光(13)
鈴木智博(22)★
植木智子(31)★

聖火リレー Day.2 6月20日(日)

第1区間 東松島市

走行距離：3.09km

- JR東名駅前
- ▼
- 野蒜が丘2丁目～市立宮野森小学校前
- ▼
- JR野蒜駅
- ▼
- JR仙石線で移動
- ▼
- JR東矢本駅
- ▼
- 市営あおい住宅前～あおい一丁目公園前
- ▼
- 東松島市役所

第3区間 松島町

走行距離：2.12km

- 松島町文化観光交流館
- ▼
- (国道45号線)松島観光物産館前
- ▼
- 天麟院前
- ▼
- 国宝瑞巖寺本堂～参道
- ▼
- 松島公園中央広場
- ▼
- 遊覧船で移動

第4～5区間 塩竈市

走行距離：1.85km

- 「桂島」係留地
- ▼
- 遊覧船で移動
- ▼
- マリゲート塩釜
- ▼
- 千賀の浦緑地
- ▼
- JR本塩釜駅前～鹽竈海道
- ▼
- 鹽竈神社表坂下

第1区間 東松島市

第3区間 松島町

第4～5区間 塩竈市



Photo by Tokyo 2020



聖火リレーランナー

★ 敬称略・年齢は走行時点
★ 実行委員会選出ランナー

東松島市

- 相澤一志(27)★
- 本村直之(59)
- Yuki(33)
- 中本路子(46)
- 大林 誠(45)
- 大場裕美子(62)
- 安孫子敏司(36)
- 日下惇平(18)★
- 武山ひかる(20)★
- 今村文彦(59)
- 軽部哲男(57)
- 高橋 豪(47)
- 佐々木大(57)
- 木村実緒(13)
- 杉本翔太(26)
- 鈴木湊人(15)★

大衡村

- 大庭真澄(37)
- 岡本惇平(27)
- 佐藤立盛(25)

松島町

- 菅原青空(15)★
- 鈴木貴之(49)
- 佐藤浩也(54)
- 松浦和志(30)
- 寺嶋 諭(70)
- 横橋純夫(59)
- 佐藤勝斗(50)
- 小原健斗(18)
- 早坂文良(48)★
- 小野寺秀俊(72)★

塩竈市

- 吉田良志恵(62)★
- マッサン(64)
- 福田由佳(38)
- 勢田誠一(47)
- 平野太朗(14)★
- 岸美加子(48)
- DADA(58)
- 山内英靖(58)
- 林本雄飛(16)

2日目の聖火リレーは、東日本大震災の防災集団移転団地として整備された東松島市野蒜ヶ丘団地のJR東名駅からスタート。途中JR仙石線の電車や、日本三景の松島湾内を遊覧船を使って次の区間へ聖火を届けながら、87人(組)のランナーによって沿岸部の市町をめぐる、オリンピック・サッカー競技が開催される利府町の宮城県総合運動公園に到着。事前に申込みされた多くの観客が詰めかける中、盛大にセレブレーションが行われました。
 ※第2区間 大衡村は、スポンサーストップにつき、ルート詳細を記載していません。

第6区間 七ヶ浜町

走行距離：2.42km

七ヶ浜国際村

町道高山2号線

(県道58号線)ながすか多目的広場前

菖蒲田浜地区町営住宅

第7区間 多賀城市

走行距離：2.87km

JR多賀城駅北口

多賀城市文化センター前

東北学院大工学部グラウンド横

高崎3丁目～高崎2丁目～城南2丁目

宮城県東北歴史博物館

第8区間 利府町

走行距離：3.56km

利府町役場

(県道260号線)菅谷台入口

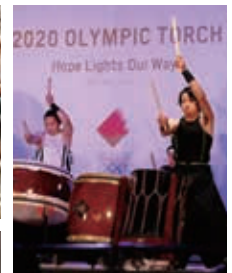
(県道270号線)グランディ21第1駐車場前

宮城県総合運動公園(セレブレーション)

第6区間 七ヶ浜町

第7区間 多賀城市

第8区間 利府町



七ヶ浜町

渡邊芳光(69)★ 三澤麻子(33)
 千葉由美子(51) 塚越祥太(35)
 長谷部澄芳(60) 板橋和枝(53)
 澤田成景(13) 今野 恵(48)★
 真船ひろみ(53) 若松昭子(77)★
 北澤寿康(52)
 大堀和子(40)

多賀城市

菅野由佳(41)★ 佐藤 浩(56) 沼田一昭(61)
 名倉聖二(53) 田村美樹(34) 會田衣吹(16)★
 佐藤真有(38) 佐藤健志(54) 千葉雄大(32)★
 永井雅人(39) 千葉柊哉(13)
 yucky(43) 渡邊孝高(24)
 太田守武(50) 三河賢文(37)
 小野寺玲子(41) 佐々木圭太(44)

利府町

永澤遥樹(14)★ 本田大翔(14) 高橋 静(15)
 遠藤圭悟(35) 吉岡隆徳(55) 山田瑞樹(40)
 千葉英晃(42) ZinkovskayaElena(42) 古川恭伍(16)
 山口剛史(40) 庄子健一(56) 阿部令奈(26)
 滝口光夫(68) 佐藤多恵(32)★ 野口敬志(59)
 小倉秀紀(41) 大沼 健(39)★ 藤山美枝子(70)★
 佐藤胞男(76) 中山大護(43)

聖火リレー Day.3 6月21日(月)

第1区間 山元町

走行距離：2.27km

- 山下駅前広場
- ▽
- つばめの杜中央公園前
- ▽
- 山元町役場
- ▽
- (国道6号線)ふじ幼稚園前
- ▽
- 山元町立山下小学校校庭

第2区間 亶理町

走行距離：2.08km

- 鳥の海温泉
- ▽
- 築港通り～県漁協仙南支所前
- ▽
- 国道123号線
- ▽
- 亶理町勤労青少年ホーム前
- ▽
- 亶理町立荒浜小学校校庭

第3区間 岩沼市

走行距離：0.83km

- 千年希望の丘相野釜公園
- ▽
- 千年希望の丘2号丘頂上
- ▽
- 千年希望の丘相野釜公園
慰霊碑前

第4区間 岩沼市

走行距離：2.95km

- 千年希望の丘二野倉公園
8号丘頂上
- ▽
- 二野倉神明社前
- ▽
- 岩沼市立玉浦小学校前～
玉浦中学校前
- ▽
- 玉浦西楽々公園

第1区間 山元町

第2区間 亶理町

第3区間 岩沼市

第4区間 岩沼市



聖火リレーランナー

— 敬称略・年齢は走行時点
★実行委員会選出ランナー —

山元町

佐藤大河(17)★寺島弘美(43)
高橋麻紀(39) 渡邊里美(42)
香月諒来(30) 阿部綺星(20)★
花淵真紀(59)
松坂東吾(22)
目黒誠子(47)
松浦洋美(57)
三浦祐未(25)
瀬戸律夢(26)

亶理町

森 義郎(59)★長谷川三四郎(25)
森岡雄一(66) 森 秀和(48)
千坂美也子(48) 残間祥夫(61)★
本谷英美(36)
吉田翔太(35)
赤木宏行(30)
木村健弘(47)
鈴木憲一(73)
櫻井華奈子(27)

岩沼市

井口脛明(75)★
伊藤太一(38)
佐藤日吉(74)
荒川大海(43)
渡辺康二(74)
今野かれん(15)★
今野義範(59)
泉 善雄(74)
太田健二(48)
阿部賀寿男(56)

仙台市

秋元達夫(63)
堀江千恵(48)
滝澤正宏(55)
鎌田あゆみ(25)

横山理々香(19)
山家佳己(27)
尾崎 章(72)
赤井澤正利(74)
平瀬智行(44)
鈴木貴紀(47)
今ひかり(19)
川村日乃香(13)★
鈴木実々(16)★

3日目は県南部から仙台へ北上するルート。山元町をスタートした聖火は、岩沼市の千年希望の丘公園や、名取市震災メモリアル公園、震災遺構仙台市立荒浜小学校などの整備された震災跡を巡り、途中、仙台亙理自転車専用道では自転車や車いすによるリレーも行われました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、仙台市中心部を走るルートはセレブレーション会場となった宮城野原公園総合運動場仙台市陸上競技場に変更となりましたが、同会場には、聖火を一目見ようと事前に申込みされた多くの観客が来場されました。

※第5・6区間 仙台市は、スポンサーストップにつき、ルート詳細を記載していません。

第7区間 名取市

走行距離：2.29km

ゆりあげ港朝市

名取市震災メモリアル公園前

県道129号線

閑上中央第一団地前～
閑上公民館前～

名取市閑上小中学校

第8区間 仙台市

走行距離：4.18km

震災遺構仙台市立荒浜小学校

震災遺構住宅地基礎前

海岸公園センターハウス前

仙台亙理自転車専用道(サイクリングロード)

自転車等によるリレー

海岸公園入口前～裏通二番

新浜みんなの家

第9区間 仙台市

走行距離：0.54km

宮城野原公園総合運動場
仙台市陸上競技場
(セレブレーション)

第7区間 名取市

第8区間 仙台市 > 第9区間 仙台市



名取市

菊地芽依(17)★ 佐藤 葵(25)
大津南女子(15)★三木田秀明(58)
田中翔悟(28) 小畑陽平(38)★
せいじ(52)
大山健太郎(75)
高橋文博(57)
阿部淳希(33)
千葉 爵(72)
佐々木清和(54)★

仙台市

竹澤守雅(53)★ 幕田里咲(17)★ 吉岡千尋(55) 小林英文(63) 西山和彦(59) 阿部和香(15)★
佐藤勲三郎(59) 柴崎義信(66)★ 日置栄一(44) 末永 幸(36)★ 小釜莉代(37)★ 佐藤かえて(17)★
一力雅彦(61) 小林まなみ(14)★ 加藤大陸(46) 森 一敏(43) 橋 道博(40) 八乙女光(30)★
磯田みづき(16) 佐々木晃(21)★ 田中 桂(51) 菅原智恵子(44) 高橋良侑(32) 高橋安(19)★
岡田卓也(45) 長谷川翔大(17)★ 中島 幸(55) 勝又栄政(29) 佐々木紘(19)★ 引地達哉(18)★
立花陽三(50) 熊澤 朗(48) 川上泰典(33) 芦川隆範(57) 菅井悠香(15)★
渡邊幹男(62)★ 佐々木東壽(42) 及川直輝(17)★ 高橋智尚(56) 森崎安加里(15)★
丹野泰子(59)★ 加藤雅規(40) 星 知宏(49) 村上貴彦(35) 菊池悠菜(14)★
熊谷さおり(51)★ 西端昭則(57) 佐光美紀(49) 井崎英里(17)★ 小野寺杏太(15)★

パラリンピック聖火

東京2020パラリンピック聖火リレー宮城県聖火フェスティバル概要



バイオガス出前講座

目的	「宮城県の火」の燃料となるバイオガスを実際を作ることで、子どもたちを中心とした環境教育の推進を図るとともに、パラリンピック競技への関心を高める。(製造したバイオガスは、集火式にて聖火の燃料として使用)
実施期間	令和3年(2021年)5月10日(月)～6月14日(月)
実施場所	5市町で6回実施(仙台市、角田市、東松島市、加美町、南三陸町)
協力	国立大学法人東北大学

聖火皿製作イベント

目的	集火式にて使用する聖火皿を、地域の子どもたちも交えて縄文式土器で製作し、製作活動を通してパラリンピック競技大会への関心や気運を高めるとともに、地域での交流を深め、共生社会の推進を図る。
実施期間	令和3年(2021年)5月16日(日)及び26日(水)
実施場所	仙台市、東松島市

採火式

目的	県内各9市町でそれぞれパラリンピックや共生社会への思いがこめられた火を採火する。
実施期間	令和3年(2021年)8月7日(土)～16日(月)
実施場所	9市町(仙台市、石巻市、気仙沼市、角田市、岩沼市、東松島市、大崎市、亶理町、加美町)

集火式

目的	県内各9市町で採火した種火を集火し一つの火とすることで、「宮城県の火」を誕生させる。
実施日時	令和3年(2021年)8月16日(月) 18:00～18:30
実施場所	仙台国際センター 展示棟1
参集範囲	採火実施市町、県・仙台市障害者スポーツ協会、東北大学、出前講座・聖火皿製作イベント実施関係機関(実施学校・施設、障害者就労支援施設等)等

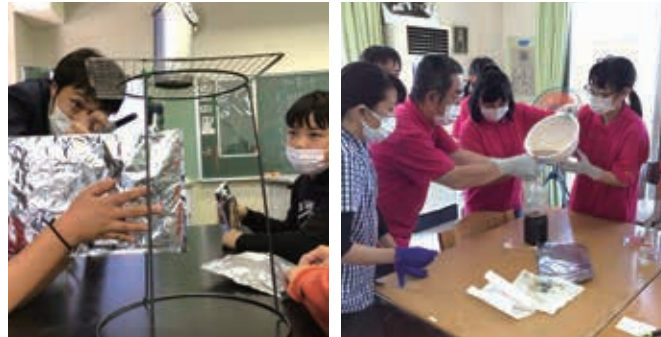
バイオガス出前講座・聖火皿製作イベント



今回のパラリンピック聖火の「宮城県の火」を集火するにあたり、宮城県独自の取り組みとして、本県のパラリンピック聖火の燃料となるバイオガスを実際に作ることで、子どもたちを中心とした環境教育の推進を図り、パラリンピックへの関心を高めようという目的により、東北大学大学院農学研究科の多田千佳准教授の指導の下、計6回の「バイオガス出前講座」が行われました。

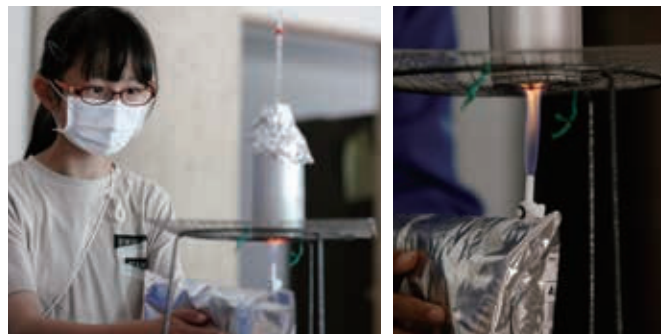
これは「牛の胃」の中の環境を実験で再現しつつ、可燃性のメタンガスを作るというもの。講座では給食の残りなどに水を混ぜてミキサーにかけ、そこに多田准教授が持参した嫌気性の微生物を混ぜてガスの素を製造。事前に研究所で作ってきたガスに火を着けて湯を沸かし、その燃料としての力を体感しました。講座で作ったガスの素は、その後ガスが発生するまで3週間ほど寝かされ、発生したガスは集火式の聖火の燃料として実際に使用されました。

また、同じく本県独自の取り組みとして、集火式で使用する聖火皿を縄文式土器で製作するイベントも開かれ、参加した子どもたちは創作活動を通じて、パラリンピックに対する関心を高めていました。



バイオガス出前講座

日程	市町村	会場
5月10日(月)	仙台市	上愛子小学校
5月15日(土)	仙台市	ポッケの森
5月19日(水)	南三陸町	志津川高校
6月2日(水)	加美町	宮崎小学校
6月4日(金)	角田市	北郷小学校
6月14日(月)	東松島市	東松島市奥松島縄文村歴史資料館



聖火皿製作イベント

日程	市町村	会場
5月16日(日)	東松島市	東松島市奥松島縄文村歴史資料館
5月26日(水)	仙台市	西多賀支援学校



採火式



「パラリンピック聖火はみんなのものであり、パラリンピックを応援する全ての人の熱意が集まることで聖火を生み出す」というIPCの理念の下、全国各地で採火された火を一つに集めて灯される東京2020パラリンピックの聖火。

「Share Your Light/ あなたは、きっと、誰かの光だ。」をコンセプトに、宮城県でも仙台市内で行われる「集火式」に向けて、県内各地でパラリンピックや共生社会に対するそれぞれの思いを込めた火が採火されました。

参加したのは仙台市、石巻市、気仙沼市、角田市、岩沼市、東松島市、大崎市、亶理町、加美町の9市町。マイギリやヒモギリといった原始的な方法で火起こしする地域もあれば、ロケットの燃料から発生した火を採取するところ、震災の翌年から絶やすことなく灯され続けてきた火を種火とするところ、法要のろうそくの火から採火するところ...と、様々な方法、様々な参加者の手によって採火された種火は、その思いと共にランタンに移され、集火式へと運ばれました。

市町村	日程	実施場所	採火方法
仙台市	8月15日(日)	社会福祉法人仙萩の杜 就労支援事業所まどか 海と畑のレストランびあてらす	施設利用者や地域住民が、マイギリ式及びヒモギリ式の火起こし器により起こした火を採火する。
石巻市	8月15日(日)	セイホクパーク石巻 (石巻市総合運動公園)	震災当時の被災地域から集めた木片より灯した火を種火とし、炬火台へ点火を行い採火する。
気仙沼市	8月12日(木)	気仙沼市市民福祉センター 「やすらぎ」	支援学校の児童らが、市障害者スポーツ協会の協力を得ながら、マイギリ式の火起こし器及び虫眼鏡等を用いて火を起こし採火する。
角田市	8月14日(土)	スペースタワー・コスモスハウス 宇宙っ子テラス広場	採火期間前にJAXA角田宇宙センターの燃料施設で発生させた火を保管しておき、保管した種火を当日改めて聖火台に点火し採火する。
岩沼市	①8月7日(土) ②8月16日(月)	①玉浦西大樹公園 ②岩沼消防署	①市内小学生がマイギリ式の火起こし器により起こした火を採火する。採火した火は岩沼消防署で保管・展示。 ②岩沼消防署で保管・展示していた火を移動用ランタンに点火し、集火会場へ送り出すセレモニーを実施する。
東松島市	8月15日(日)	東松島市奥松島縄文村 歴史資料館	ジュニア・リーダー及び市内小中学生と特別支援学級児童が、マイギリ式火起こし器により起こした火を採火する。
大崎市	8月15日(日)	大崎市鹿島台瑞・華・翠交流施設 (鹿島台中央野球場)	鹿島台小学校の児童・保護者・関係者がマイギリ式の火起こし器により起こした火を採火する。
亶理町	8月15日(日)	宮城県漁業協同組合 仙南支所(亶理)魚市場	「わたり夏のタベ」にて行う法要行事において、法要で使用したろうそくの火を採火する。
加美町	8月14日(土)	加美町中新田文化会館	事前にチリのパラ選手が起こした火を種火として、新成人の3名の方が改めて火をランタンに移して採火する。



集火式



開催日時	令和3年(2021年)8月16日(月) 18:00~18:30
開催場所	仙台国際センター 展示棟1
主催	宮城県
協力	国立大学法人東北大学 採火実施9市町・聖火皿製作機関・ バイオガス出前講座実施機関・関係機関

県内各9市町で思い思いの方法で採火された種火は、8月16日、仙台国際センター展示棟で行われた「集火式」で「宮城県の火」として一つになりました。式は新型コロナウイルス感染者の急増に伴い、参加者を50名余に限定した形で開催。

宮城県の大山明美オリンピック・パラリンピック大会推進局長の挨拶の後、9市町で採火された種火が順番にステージに登壇。スクリーンにはそれぞれの採火の様子が写真で映し出されました。ランタンに灯された9つの種火は、まず各市町の代表者の手で前に置かれた5つの小型聖火皿に集火。9つの種火から5つの聖火皿に移された火は、次いで東松島市ジュニア・リーダー5人の子どもの手によって、ステージ中央に置かれた縄文式土器の大きな聖火皿に点火。会場からは大きな拍手が起こりました。こうして一つにまとめられた「宮城県の火」は、続いて聖火リレー宮城県代表者である庄子健さんにより聖火皿からトーチに移され、さらに聖火ランナーの木村はるみさんの手でトーチから大山局長の持つ移送用ランタンに納火。8月20日に開催された東京の集火式で一つになり、8月24日の開会式で国立競技場の聖火台に点火され、東京2020パラリンピックに希望の火を灯し続けました。

- 開場／受付
- 開式
- 主催者代表挨拶
- 「宮城県9市町の火」入場
- 「宮城県9市町の火」集火
- 「宮城県の火」集火
- パラリンピックトーチ点火
- 宮城県集火代表者挨拶
- 宮城県聖火ランナー挨拶
- 「宮城県の火」納火
- 閉式

登壇者

主催者挨拶・聖火納火	宮城県企画部オリンピック・パラリンピック大会推進局長 大山 明美
採火9市町	各市町代表者
聖火皿(大)点火	東松島市ジュニア・リーダーのみなさん
パラトーチ点火・挨拶	聖火リレー宮城県代表者 庄子 健さん
ランナー挨拶	聖火ランナー(宮城県選出枠) 木村 はるみさん

